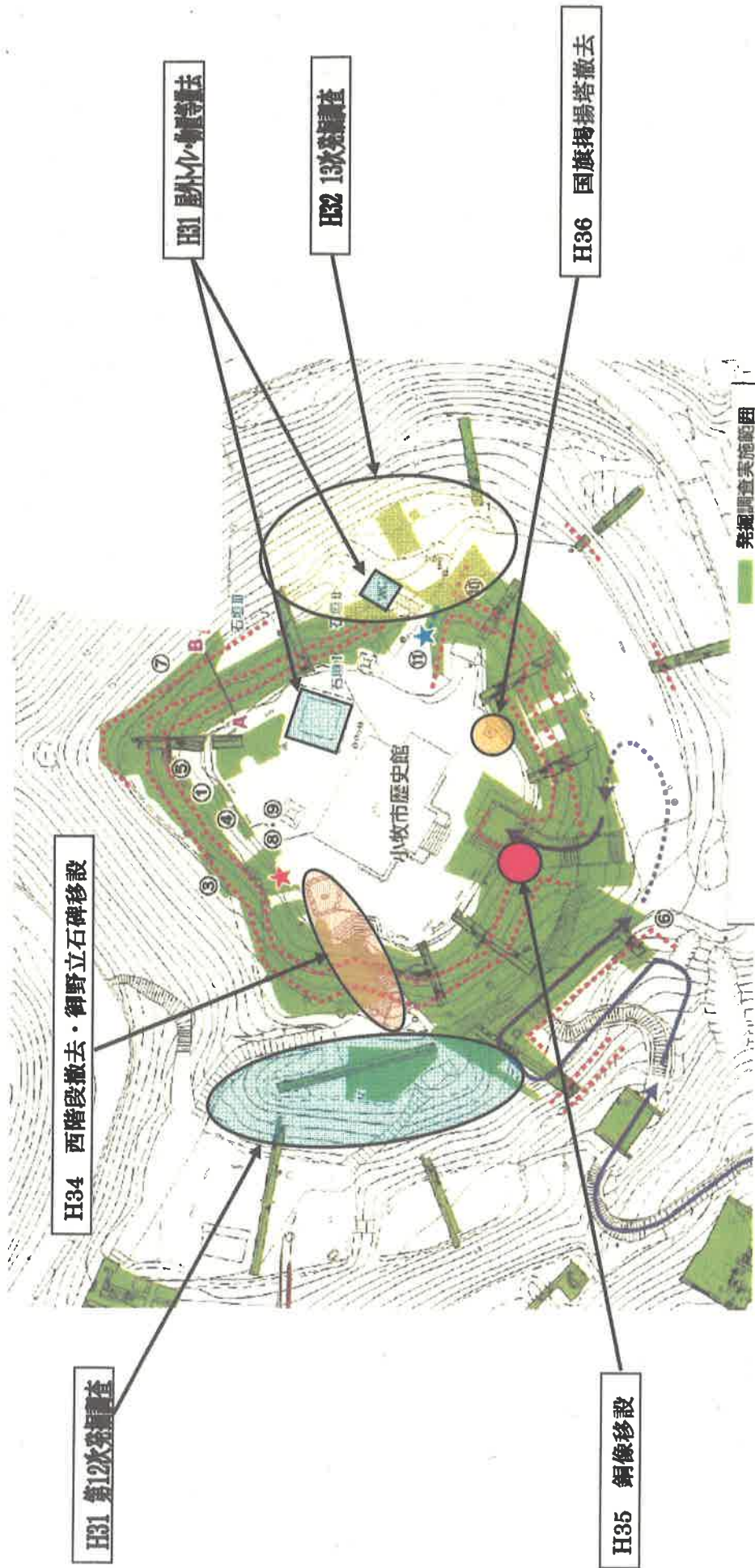
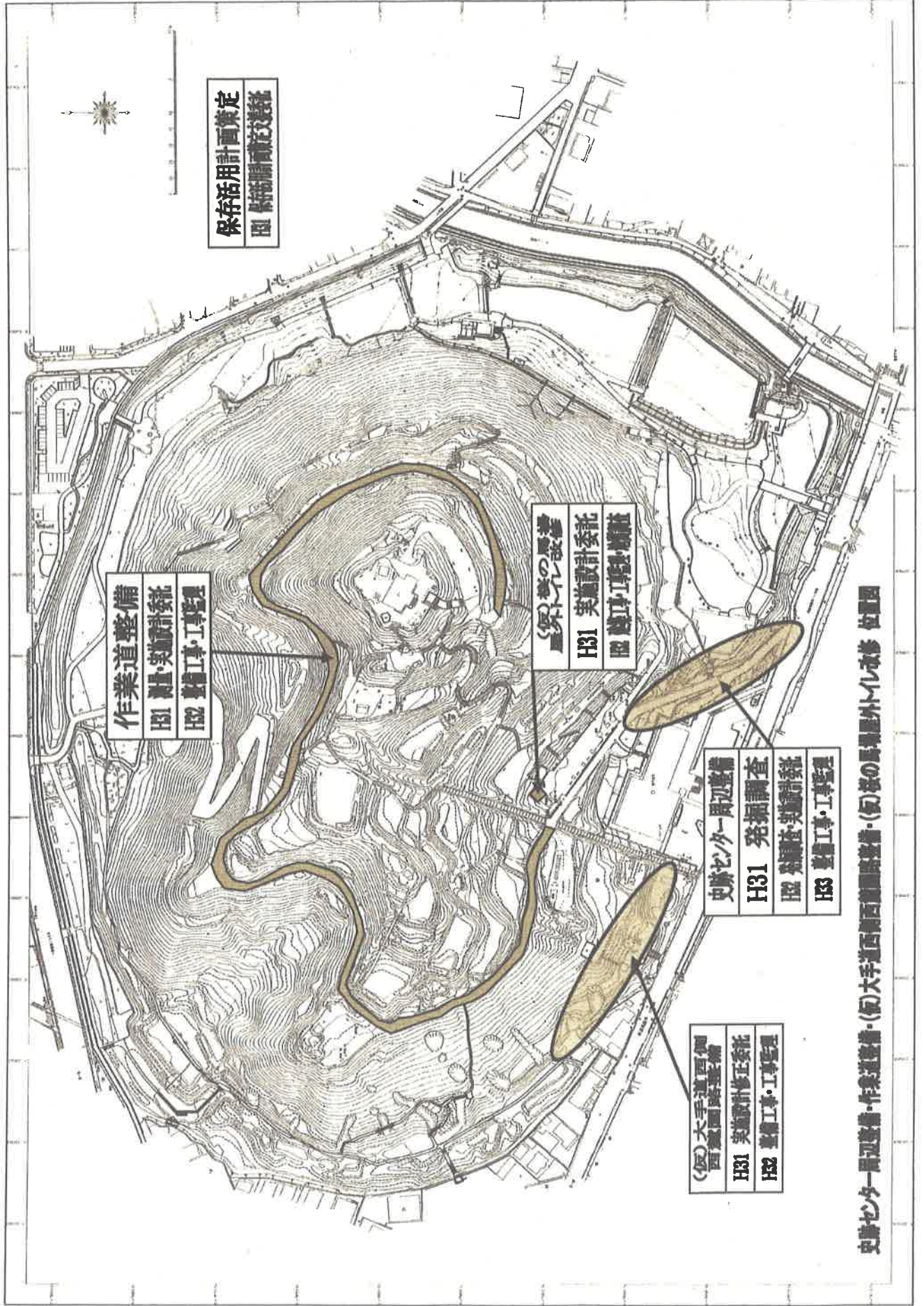


# 史跡小牧山 整備スケジュール

年度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	
史跡小牧山整備事業	発掘調査	第10次 (3段目石垣・北西) 1~8次総括報告書作成	第11次 (3段目石垣・南) 1~8次総括報告書刊行	第12次 (1・2工区) 山頂屋外WC、 物置、サイレン塔 設置、サイレン塔 実施設計	第13次 (3・4工区) 整備工事	9~13次 総括報告書 作成・刊行 電柱・照明塔 ~4工区まで各所	西階段 御野立石碑移設	銅像移設	国旗掲揚塔		
	基本計画 既設物撤去・移設		修正								
	作業道整備			実施設計	整備工事						
	実施設計(α整備)				1工区実施設計	3工区実施設計	4工区実施設計				
	整備工事(α整備)					2工区実施設計	2工区整備工事	3工区整備工事	4工区整備工事		
	実施設計(β整備)			5工区実施設計							
	整備工事(β整備)					5工区整備工事				整備事業 報告書作成	
	保存活用計画策定		保存活用計画策定	保存活用計画策定							
	大手道西側西麓園路整備			実施設計修正	整備工事						
	桜の馬場トイレ改修			実施設計	建築工事						
史跡 周辺 整備	史跡整備		整備工事								
	登山道部分(新)	実施設計	整備工事								
	登山道部分(現)			発掘調査	実施設計・ 発掘調査概要 報告書作成						
史跡 センター 建設	建物		建設工事								
	展示		制作委託	供用開始							



史跡小牧山主郭地区 発掘調査・史跡整備 位置図



保存活用計画策定  
 ㈱ 新井建設株式会社

作業道整備  
 H31 測量・実施設計委託  
 H32 監工工事・工事監理

(仮) 塔の歴史  
 屋外トイレ改修  
 H31 実施設計委託  
 H32 監工工事・工事監理

史跡センター周辺整備  
 H31 発掘調査  
 H32 発掘調査・実施設計委託  
 H33 監工工事・工事監理

(仮) 大手道西側  
 西風園路整備  
 H31 実施設計修正委託  
 H32 監工工事・工事監理

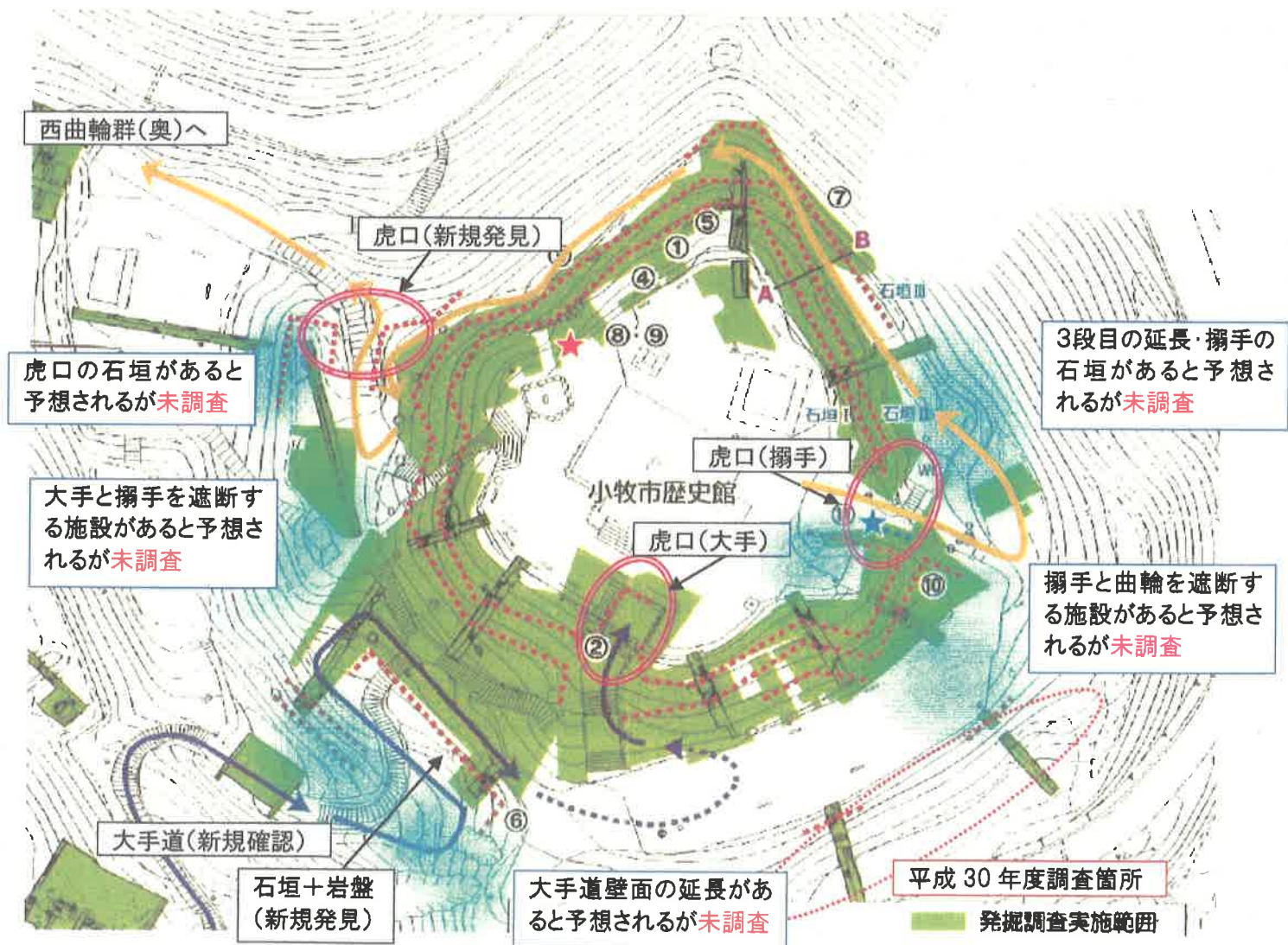
史跡センター周辺整備・作業道整備・(仮)大手道西側西風園路整備・(仮)塔の歴史屋外トイレ改修 位置図

## 史跡小牧山 整備スケジュール等について

### 【スケジュール及び手順、プランを再精査する必要性が生じた理由】（下図参照）

- ① 平成 28・29 年度実施の発掘調査で、新発見の石垣・大手道・虎口などが次々と確認され、整備の計画時点とは異なる城郭のプランや歴史的評価が推定できるようになった。
  - （例）・ 大手道が大きく角ばって屈曲し、壁面には岩と石垣の壁が5mもそそりたつ
  - ・ 西側の曲輪群（信長の私空間？）と山頂（公空間）をつなぐ唯一の出入口（虎口）が石垣で造られていた ……など
- ② これまでの発掘調査は整備のための基礎資料を得るために実施された。上記①の成果は、その過程で確認されたものであるが、調査により当初想定していない石垣などが存在することが判明した。当初の整備スケジュールでは文化庁の求める適切な整備から逸脱してしまったり、実施設計に際して手戻りが生じる恐れがあるため、その部分の状況を調査で確認し、設計に反映させる必要がある。

～現時点で想定される主郭の構造～



## 【主郭地区を整備するにあたって当面必要な業務】

### ① 主郭地区基本計画修正版の策定

- … 石垣がまとまって確認される以前(平成 21 年)に作成された基本計画の一部を現状に即して修正する。この中で今後の整備の対象範囲や内容の**方針**を定める。  
平成30年度中に策定 (専門委員会での審議、文化庁との協議を経る)

### ② 整備にあたって必要な情報を得るための調査

- … 現計画・スケジュールに即して行ってきたこれまでの調査で、石垣のラインや大手道、虎口が当初想定プランとは異なることが確認され、整備計画の変更を余儀なくされる部分についての確認調査

### ③ 上記①・②の作業を反映した実施設計、整備工事(基本計画に基づく各工区ごとに実施)

## 主郭の整備方針

- 【α整備】** … オリジナルの石垣を中心に、通路(大手道)や虎口を調査成果を反映させた形状に整備する方針。従来計画では来場者の多い**山頂南側**を中心とするエリアを想定。

### 石垣の整備イメージ

① 佐敷花岡城(熊本県)



② 河後森城(愛媛県)



- 【β整備】** … 通路(搦手道)整備を中心に行い、石垣や調査成果については推定ラインを地形・植栽などで表現する方針。従来計画では**山頂北側斜面**を中心とするエリアを想定。

### 整備イメージ

一乗谷朝倉氏遺跡(福井県)



【整備内容】



α 整備エリア  
(石垣・虎口・道の復元整備)  
工区数 4・4カ年



β 整備エリア  
(石垣等地形の植栽表示・  
園路整備)  
工区数 1・1カ年

※  
調査が必要となる可能性の  
ある範囲は基本計画修正  
のなかで確定させる



【スケジュール】

史跡センター開館

	年度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
現計画	発掘調査(現計画)	第10次 (3段目石垣・北西) 1~2次発掘報告書作成	第11次 (3段目石垣・南) 1~2次発掘報告書発行	9~11次発掘報告書作成・発行							
	基本計画		修正								
	実施設計(α整備)			1工区実施設計	2工区実施設計	3工区実施設計					
	整備工事(α整備)				1工区整備工事	2工区整備工事	3工区整備工事				
	実施設計(β整備)						4工区実施設計	5工区実施設計			
	整備工事(β整備)							4工区整備工事	5工区整備工事	整備事業報告書作成	
変更計画	発掘調査	第10次 (3段目石垣・北西) 1~2次発掘報告書作成	第11次 (3段目石垣・南) 1~2次発掘報告書発行	第12次 (1・2工区)	第13次 (3・4工区)	9~13次 発掘報告書 作成・発行					
	基本計画 既設物除去・移設		修正	山頂屋外WC、 指星、サイン塔		砲台・説明塔 ~4工区まで各別	西砲台 御立石砲台移設	銅像移設	園路植栽地		
	作業道整備		(保存活用計画決定)	(保存活用計画決定) 実施設計	工事						
	実施設計(α整備)				1工区実施設計	2工区実施設計	3工区実施設計	4工区実施設計			
	整備工事(α整備)						1工区整備工事	2工区整備工事	3工区整備工事	4工区整備工事	
	実施設計(β整備)			5工区実施設計							
整備工事(β整備)					5工区整備工事					整備事業報告書作成	